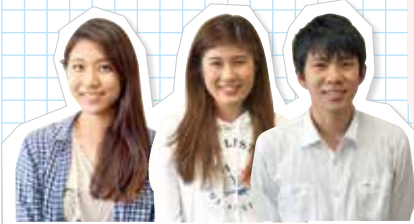




学生に聞きました！
講義・大学・将来の夢



川口 玲子さん(左)
外国語学部 英米学科2年生
いつも丁寧に教えて頂けるので、先生の講義はとても分かりやすいです。今日の講義では日本と諸外国との犯罪の発生率が違うことと、それに対する法的なアプローチも各国でまったく異なることに驚きました。小さい頃からの夢は、キャビンアテンダントになることです。

古田 華奈里さん(中)
外国語学部 英米学科2年生
法律の講義なので難しく感じることはありますが、専門知識を英語で学ぶことによって、普段使わない単語なども分かるようになりました。自由に発言できる雰囲気もあってとても楽しい講義です。

澤田 光平さん(右)
外国語学部 英米学科2年生
以前から英語を使って何かを学びたいと思っていましたので、国際科目群のこの講義を受講できてとてもワクワクしています。沢登先生は学生思いのとても優しい先生です。毎回リラックスして受講しています。

南山大学

〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18
南山大学 入試課
TEL 052-832-3013

人文学部	【沿革・歴史】
外国語学部	1932年 財団法人南山中学校設立
経済学部	1946年 南山外国語専門学校(英語科・華語科)設立
経営学部	1949年 南山大学(文学部英文・仏文・独文・中国文の4学科)設立
法学部	1952年 社会科学部(社会学科・人類学科)を設置
総合政策学部	1960年 社会科学部を発展させて経済学部(経済学科)を設置
理工学部	1963年 外国語学部(英米科・イスパニヤ科)を設置
国際教養学部	1968年 経営学部(経営学科)を設置
(設置構想中)	1977年 法学部(法律学科)を設置
2017年4月開設予定	2000年 文学部と外国語学部を学科改組、文学部を人文学部に名称変更
	2009年 総合政策学部総合政策学科を設置
	2014年 数理情報学部情報通信学科と数理科学科を設置
	2009年 数理情報学部を情報理工学部名称変更
	2014年 情報理工学部を理工学部名称変更

イベント情報

○オープンキャンパス

7月16日(土) 13:00~17:00
7月17日(日) 10:00~15:00

※内容の詳細については、6月10日以降、Webページにて随時公開していきます。



取材担当記者より
南山大学、
こんな大学でした！

名古屋市内にありながらも豊かな緑に包まれている南山大学。2017年には全学部・全学科を名古屋キャンパスに統合し、よりいっそう学部横断的な教育に注力。「国境のない学び場」を提供していくそうです。沢登先生の講義でも学部を越えての学生たちの交流が印象に残りました。



先生のご紹介

さわのぼり ふんじ
沢登 文治先生

1961年、名古屋市生まれ。南山大学法学部法律学科教授。新潟大学法学部・同大学院修士課程修了後、東北大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得退学。専門は日本国憲法、アメリカ憲法、フランス人権宣言。主著に「刑務所改革 社会的コストの観点から」(集英社新書)など。

さうそう英語による議論が始まった。すると「犯罪発生率は人数あたりの比率だと思うのですが、明確な表記がないですよ」

「現在日本にはどれぐらいの受刑者がいると思いますか。約6万人です。彼らの身柄を拘束して閉じ込めておくのが刑務所」

「人間の尊厳」に合致した法制度を英語で考え発信することの大切さ

「現在日本にはどれぐらいの受刑者がいると思いますか。約6万人です。彼らの身柄を拘束して閉じ込めておくのが刑務所」

「人間の尊厳」に合致した法制度を英語で考え発信することの大切さ

法を、私たちは主体的に考えていかななくてはなりません。人間の尊厳に反するような刑罰はあり得ません。人権と自由を守りつつ、人間の尊厳を確保していく。それを目指すのが法の第一原理だからです」

「人間の尊厳」という観点から見ると、死刑制度を維持している日本は先進国とはいえません。国連からも非難されています。そうした日本の立ち位置を理解したうえで、海外でちゃんと英語で説明できるようにしたいと思っています。説明だけではなく、日本に合った方法を自分なりに

考えられるようになってきたら嬉しいですね」

南山大学では、2017年に「国際教養学部(設置構想中)」が開設される。「地球規模の視点を持つ21世紀型市民の育成」を目指す新しい学部は、国際性を特長とする同大学が満を持して設立するものだ。「人間の尊厳のために」という教育モットーの質的向上を、さらに加速させる



南山大学 法学部 法律学科

5.9.Mon. at Nagoya
13:30~15:00

本日の講義 法と人間の尊厳(国際科目群)

講義の流れ

法、あるいは法制度と「人間の尊厳」との関係について、国内外の死刑制度や刑務所制度などの具体的事例を参照しながら考察。それらをふまえて「人間の尊厳」を確保するためには、どのような改革が必要であるのかを議論していく。

醍醐味

「国際科目群」に属するこの講義はすべて英語で行われる。全学部生に開かれているため、法学部以外の学生でも法学の専門知識や考え方を「英語で」身につけることができる。

「人間の尊厳」と「法」との関わりを 英語で学び、英語で考える

グローバル社会の重要キーワード 「人間の尊厳」とは何か？

「法と人間の尊厳」の講義は、全学部生を対象とする選択必修科目だ。「Homnis Dignitati(人間の尊厳のために)」を教育モットーに掲げる南山大学では「人間の尊厳」科目として、3つの分野で講義を開講している。学生たちは、宗教、哲学、政治・経済、教育などのさまざまな分野と人間の尊厳との関わりを学び、



先進諸国の刑務所制度の違いを 英語で議論してみよう

「さて、前回までは死刑制度の現状と、それにまつわるさまざまな意見があること。例えば、死刑制度における六カ月ルールを例に出してみんなで考えました。それから、死刑制度を廃止して終身刑を導入したらどうなるかという点にも話が及びましたね。今日はそれらの議論を踏まえたいので、罪を犯した人々を収容する刑務所について考えていきたいと思います」

沢登先生による授業の

は人間の尊厳を守るためにあるわけですが、必ずしもキリスト教と現代の法律とがリンクしているわけではありません。それをどのように関連付けていくかが、この講義の課題となります。また、人間

の尊厳の概念は、国際人権規約やドイツ基本法などの土台にもなっています。国際社会において、自由や人権を支える重要なキーワードなのです」

さらに特筆すべきは、この講義が「国際科目群」と呼ばれる教育プログラムにも属している点。「英語で」専門科目を学ぶことができるもので、全学部生に開かれている。つまり、本日の講義はすべて英語で行われるのである。

「日本と諸外国の状況とを比較してみよう」

「reported cases(認知件数)」とは、警察が把握した事件の発生数です。「crime rate(犯罪発生率)」と「clearance rate(検挙率)」そして認知件数を比較してみてください。どんな違いがありますか」

スライドに映し出されたのは、日米仏独伊の五カ国における犯罪発生率と検挙率を示した図表。先生が水を向けるこ